



## 6月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園  
2021年 6月1日

\*\*保育目標 歓喜 一つよくのびますー

- ・自分で考え、工夫し、友だちとも遊びを楽しむ。
- ・小動物や草花を育てる中で、命の大切さを知る。



### 【法話】

あみだによらい  
阿弥陀如来さま

例年より、およそひと月早い梅雨入りで、これからの季節、熱中症が心配されます。また、新型コロナウイルス感染症も、全国的に感染拡大し予断の許さない状況です。どちらも、予防対策を取り、今一度、国や県の感染予防対策の再確認・徹底を、お願い致します。

保育園のお仏壇には、ご絵像の仏さま、お寺には、お木像の仏さまが、ご安置されています。

私たちがいつも合掌礼拝している仏さまは、阿弥陀如来さまという仏さまです。別のお名前を「阿弥陀さま」「南無阿弥陀仏」「みほとけさま」「ののさま」ともいいます。仏さまは、さとりを得た人、つまり、すばらしいのちを持たれた方で、「阿弥陀」とは、光明無量、寿命無量ということです。阿弥陀如来さまは、いつでも、どこでも、どんなときにも、「わたし」と一緒にいてくださいます。阿弥陀如来さまは、そのすばらしいのちを私たちに働きかけ、まことの道を歩んでくれよと願い続けてくださっています。阿弥陀如来さまのあたたかく大きな心につつまれて、強く明るく、私の「いのち」を精一杯生かさせていただきましょう。

合 掌



「あそんだ後は・・・」

「小さな虫にもいのちがある」さやま保育園いろはかるたの中にこんな文言があります。子どもたちは春遊び夏遊びをする中で小さな虫や草花などを使って、触れあったり、観察したり、おままごとに使ったり、色水を作ったりいろいろな遊びを楽しんでいます。どんなに小さな生き物でも草花でもいのちがあることを伝え、遊んだ後は、逃がしてあげたり、ありがとう感謝の気持ちを込めて土へ返してあげます。園でもお家でも日々、いのちの大切さを伝えていけたらいいですね。

### 今月の行事予定

- 7・14・21・28日 礼拝 3日 内科検診  
4日 歯科検診 7日 水遊び開始  
発育測定(14日 うさぎ・いちご 15日 もも・さくら・ほし  
16日あひる・ひよこ) 14日交通教室  
21日 クッキー作り 22日 誕生会  
28日 奉仕作業  
29日 避難訓練 集金日



### 「アゲハチョウさんがんばって！」

ゴールデンウィーク明けに給食の先生が自宅で育てていたちょっぴり大きくなったキャベツを持ってきてくださいました。そこは、たくさんの「あおむし」のお家になっていて、4・5歳児のお友だちは「僕・私のあおむし君」とお家に連れて帰ったり、クラスでも育てることになりました。いちご組にも2匹のあおむし君が仲間入り！「どんな葉っぱを食べる?」「どんなちょうちょになる?」「急に動かなくなったよ」子どもたちは日々の小さな変化や発見をみんなで話したり、図鑑で調べたり。先週、みんなが見守る中、1匹のさなぎがきれいなちょうちょになりました。そしてしばらくすると、もう1匹のさなぎもちょうちょに、、、外遊びからお部屋に戻ると、「あっ、ちょうちょになってる!」「あれ?でもちょっと違う...」「羽がひとつ出てこないよ!」「どうしたのかな...」心配になった子どもたちは、すぐに図鑑で調べたり、聞いたり、しばらく様子を見ていましたがとうとう1枚の羽は出てきませんでした。お外に逃がしてあげようと広場の木においてみるとどンドン上へ上がっていく蝶を見ながら、「頑張って!大きくなってね!」「たくさんお花の蜜を吸ってね」と近くの葉っぱにお花を集めてあげるやさしい姿も見られました。羽が上手く出てこなかった...羽化する時にはよくあることのようにですが、あおむしの成長に触れることによって、それぞれの形、姿があるという事、そしてどんな様子でも最後まで受け入れ、命の尊さを感じることが出来、子どもたちや私たちにとって、大変貴重な経験となりました。



◎5/21 みんなが楽しみにしていたヴァイオリンコンサートを開催することが出来ました。今回はヴァイオリン・ピアノにチェロも加わって、素敵な演奏を目の前で聴くことが出来ました。ホールから流れてくる音に0.1歳の子どもたちも動きを止めて耳を傾ける姿も見られ、生の演奏の力ってこんなに小さな子ども達の心まで動かせるんだなぁと思う瞬間でした。